縁（ゆかり） NO.38	R6.2.28（水）	文責　坂本英明

学校教育目標　【自ら考え、判断し行動する子どもの育成】
重点目標 ①挨拶・返事 ②掃除・委員会係 ③服装・名札 ④時間

2.22（木）授業参観・学級懇談会

文字だけのやりとりによる誤解（SNS利用）

新聞に次のような記事が掲載されていました。

～～～Aさんが，SNSのグループトークで，**「明日，〇〇（店名）に行こうよ。」**とみんなを誘った。Bさんはいち早く，**「いいね。行きたい」**とメッセージを送った。しばらくして，Cさんは，**「何で来るの？」**とメッセージを送った。～～～

質問1　ここで，BさんとCさんのケンカが始まったそうです。なぜだかわかりますか？

解答1　Cさんは，〇〇（店名）まで，Bさんがどの交通手段（徒歩，自転車，バスなど）で来るのかを聞いたつもりでした。しかし，Bさんは，「どうしてBさんが来るの？」という意味で受け取ってしまったのです。

文字だけのやりとりのSNSは，このような**誤解を生む可能性**が大いにあります。実際にトラブルに巻き込まれた児童もいます。SNSを使用する前に，**起こりうるリスクを回避するために，どう行動するか**をあらかじめ考えさせなければなりません。

質問2　このような誤解を回避するためには，Cさんはどのようなメッセージを送ればよかったのでしょうか？

解答2　解答例　「交通手段は何？」とか，「自転車？バス？」など。

要するに，Bさんがどんな交通手段で来るのか，自分の交通手段の参考にしたい，という気持ちが伝わる文章にすべきです。**短文で，自分の思いを相手に誤解なく伝えるためには，相当の想像力や文章力が必要**です。

学校では，情報モラル教育を毎年実施しています。ご家庭でも，SNSを子どもに与えるときには，情報モラル教育を十分なさっていただき，トラブルに巻き込まれないよう，日頃より，SNSの管理・監督をしていただきますようお願いします。

↓↓↓飽田東小学校ホームページはこちらから↓↓↓

http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/school/e/akitahigashies/index.htm